

# スロ～なニュースレター



## 協会活動 ● いろいろ報告

### 天習+せ学【環境「緑育」活動】

## 平成26年9月14日(日)「くるくるフェスタ」で第6回リユース広場を開催

良いお天気に恵まれて、朝早くから多くの方々に宝探しでもするかのようにお目当ての品を見つけに来ていただきました。

「もったいなくて捨てられないけど、誰かが使って頂けるのなら」とご厚意で寄付して戴いた新品やリユース品などは、お値打な品物がたくさんあり、あれもこれもと、いく袋も持って帰られる方もありました。農業塾農園で収穫した、ナスやピ

ーマン、冬瓜、南瓜などの新鮮なお野菜は、いつものように早々に完売してしまいました。

この日集まった皆様からのあたたかい寄付金は、三重スローライフ協会でご子供たちを中心とした次世代の育成活動に利用させていただきます。今回も、物を大切にしたり生かしたりしながら、人と人の有意義な繋がりのお手伝いをさせていただけたことで、私たちスタッフも「お役

に立てて良かったね!」と達成感のある一日となりました。回を重ねる毎に、より多くの方々にご協力いただいていることには、心から感謝いたしております。

次回は12月末の迎春準備イベントと併せて開催予定しておりますので、引き続き宜しくお願い致します。

(詳しい日時などは、HPでご確認ください)



### 天習+せ学【環境「緑育」活動】

## 「農業塾」

### 農業塾第Ⅱ期修了～農業塾第Ⅲ期スタート!

平成25年9月2日(土)から、農業塾第Ⅱ期を開講していましたが、8月2日(土)で、1年間(12回)の講座を終えることができました。講座終了後、すぐに第Ⅱ期修了証授与式を行い、23名の受講者の方々に、今後の農業分野での活躍を祈念して、塾長(大原理事長)からの修了証授与を行いました。

修了式が終了し次第、「研修(修了)旅行」(12名参加)になりました。研修テーマは、農業塾実践農場で栽培した小麦(ゆめちから)とライ麦を利用した「実践農場産麦を利用したパン作り」でした。目的地は伊賀白鳳高校で、フードシステム科にお世話になりました。当該高校の辻校長先生始め、フードシステム科の新崎先生、西島先生並びにフードシステム科長の野田先生に親切で適切な指導を受けるとともに、できたてのパンの試食もあり、たいへん有意義な研修旅行となりました。

平成26年9月6日(土)から、26名の受講者をもって「農業塾第Ⅲ期」が始まっています。今まで2年間の実績と経験、受講生からの要望を糧に、さらに充実した講座にしようと考えています。今後とも、会員を始め関係する皆様方のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

農業塾(概要や講座内容など)については、「NPO法人三重スローライフ協会・農業塾」としてインターネットで情報公開していますので、パソコン等で検索してください。



### 研修報告

## 農業塾で育てた「ゆめちから」と「ライムギ」で、パン作りを堪能!



アツアツの出来たてパンを頬張り、みんなの笑顔が溢れたのは三重県立伊賀白鳳高校さんにお邪魔しての視察研修でした。農場で試験栽培した超強力粉の新品種「ゆめちから」と「ライムギ」を一番粉二番粉などに製粉してもらいました。練った生地をみんなで成形しフォカッチャなど3種類のパンを作り、市販のカメリア粉のパンと食べ比べてみました。「ゆめちから」のパンはモチリ感と甘味が、シカ肉やベーコンのトッピングと相性も良くボリュームは満点!一年間お世話になった先生方に、感謝いっぱい思い出深い農業塾第2期の修了研修旅行となりました。

(農業塾第2期受講生 近田)



### 委託事業報告

## シルバー人材センター「就農者養成」技能講習について

平成26年5月から3カ月間、(社)三重県シルバー人材センター連合会の委託を受け、厚生労働省の委託事業である「平成26年度『就農者養成』技能講習」を行いました。講師は大原理事長、藤田理事、森川事務局長の3人が担当し、受講者は16名(内女性4名)でした。5月11日(日)9時からの開講式に始まり、1日あたり6時間の講座(講義と実習)を8月4日(月)の開講式まで7回の講座を持ちました。講習期間中

は雨や蒸し暑さにも関わらず、受講者の熱意と就農意欲のお蔭で当初の計画通り終えることができました。

この受講者の中から、NPO法人三重スローライフ協会への入会を希望し、「農業塾第Ⅲ期」の受講者として農業にもっと関わりたいという者が8名いて、今後の本協会の活動に協力してくれることになったということも、この講習会の成果だと思いました。(藤田、森川)



# 10周年! NPO法人三重スローライフ協会総会を開催

平成26年6月22日(日曜日)10時から、松阪農業公園(ベルファーム)のレクチャールームにおいて第11回通常総会を開催しました。

NPO法人三重スローライフ協会を設立してから10年を経て、今日まで活動でき、その存在価値を高めることができたのは会員の方々のご理解とご協力の賜物と感謝しております。

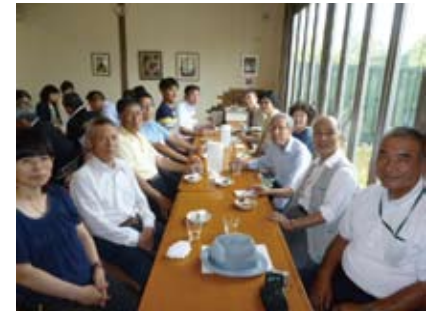
総会は正会員28名中で14名(その他委任状10名)の出席の下、執行部の発展的な提案を滞りなく決定し、26年度の活動を開始することとなりました。総会の後、法人会員・協力会員11名の参加とともに交流会を持つことができました。

交流会の初めは、会員の皆様の親睦と友好を深めようという目的をもって、藤田理事をリーダーとして「天才クイズ(○×クイズ)」を行いました。常識では図れないくらいの難しい(?)問題に参加者の皆様の悩みと回答で、楽しく笑顔が満ち溢れた交流会となりました。

交流会を終えて、天才クイズの結果の話がつかないまま食事会になりました。会場は、当公園のガーデンカフェ「ルーベル」でした。特別メニューのランチをいただきながら、交流会を延長したような会員の親睦を深める食事会となり、通常総会を締めくくりに適した有意義な食事会となりました。最後に、今年度から松阪農業公園(ベルファーム)を運営する(株)松阪協働ファームの社長になった岩森理事の挨拶で、総会行事の終了となりました。



交流会(ゲーム)



交流会(ルーベルでランチ交流)

## 世産世食・平凡人生

### 報告2014年度前半のスローな談話会

「継続は力なり」を信じて、偶数月は松阪農業公園ベルファームで、奇数月は津の豊里ネオポリスで談話会を続けています。

平成25年4月から9月までの話題提供者とテーマ、参加人数は表の通りです。

話題提供者 テーマ

4/25(ベル)	中村 寛人	ベルファームと地元協議会のかかわり
5/31(ネオ)	穂本 加奈子	「母子にとっての食育とは?」
6/27(ベル)	加藤 幹吉	伊勢寺の環境保全の取り組みとベルファーム
7/25(ネオ)	大西 繁巳	新しい地域の絆づくりを目指して
8/29(ネオ)	岡山 康介	新規参入の動機と地域循環農法
9/26(ネオ)	松野 征洋	スローライフへの思いと地域活動

(ベルはベルファーム開催、ネオはネオポリス・津の開催)

今年の前半は三重スローライフ協会やベルファーム関係の地域活動をされている人たちの話が4件になりました。各地域で地域の自然環境や歴史を大事にしながらかつて住んでいる場を良くしていく自立的な活動が不可欠な時代になりました。国の施策に対する力は無力でも地域地域を良くしていく活動は私たちの力の範囲でそれなりに可能です。

最近の学習会は身近な人からの話を聞くことが多いので、少し世界的な視野の環境エネルギー問題について、デンマーク人のピーター・D・ペーダーゼン氏の話をお聴きする機会を大原の声かけで今年11月に設けることができました。時間調整が付く人は是非聴いてみてください。



若手農業者とベテラン農業者の交流(8月の談話会)

#### ①11月10日(月)

「ESD in 三重2014」三重大学開催の国際会議に関する「アジア・太平洋環境コンソーシアムESD国際シンポジウム」(三重大学環境情報科学館、13時30分開始)におけるピーター氏の講演「食とエネルギーの環境大国デンマークの経験に学ぶ」(15:20~55)

参加費:無料

②11月11日(火)7:30~9:00(ホテルグリーンパーク津6F、参加費:朝付き2500円、朝食なし2000円)

「井ノ口輔伸氏主催のモーニングカレッジ」におけるピーター氏の講話

テーマ:「北欧デンマークに学ぶ成熟社会の社会デザイン」

・上記①、②のピーターさんの講演は通訳なしの日本語でなされます。